

平成28年度オーストリア林業シンポジウム

研修報告 日本財団鳥取人材育成プログラム

「オーストリア林業研修」



平成28年10月7日

鳥取県農林水産部森林・林業振興局 林政企画課 渡邊 晋輔
專業農林家 杉山 裕一郎

なぜ、オーストリアなのか？

- 林業国の多い欧州の中で、特に地形が急峻。
- 林道整備と機械化による低コスト林業を実践。
- 年間100万m³以上原木消費する大規模製材工場が複数存在。
- 木質バイオマス利用の先進国。
- 観光に次いで林業・木材産業が第二の産業。

オーストリア大使館主催

「日本人林業技術関係者向け特別講座2016」

(ケルンテン州オシアツハ森林研修所)

日本財団の支援を受け県内6名の若手林業者＋県職員1名が参加

オーストリア林業研修事前勉強会(8月19日)



オーストリア林業研修の行程

- 8月31日(水) 林野庁、日本財団表敬訪問
- 9月1日(木)～4日(日) クラーゲンフルト林業機械展
- 9月5日(月)～9日(金) オシアツハ森林研修所



林野庁
今井長官



日本財団
佐藤常務理事

日本財団
木田所長

オーストリア

- ・国土は北海道程度
- ・緯度は北海道稚内程度



研修先



森林・林業の概要

オーストリアと日本の森林・林業の比較

項目	オーストリア	日本
森林面積(万ha)	396	2,508
素材生産量(万m ³ /年)	2,600	2,365
木材・木製品輸出額	2,300億円	229億円
路網密度(m/ha)	45	14

樹種

- ・針葉樹72% (うちトウヒが81%)
- ・広葉樹28% (うちブナが41%)



トウヒ林



トウヒとブナの混交林

林道と林業機械



カマボコ型で路面排水良好
転圧された頑強な路盤工



大型の機械・車両が走行可能

大型製材所

ヨーロッパ大型製材所ベスト10(原木消費量150万
m³/年以上)のうち3社がオーストリアに



選木機へ投入



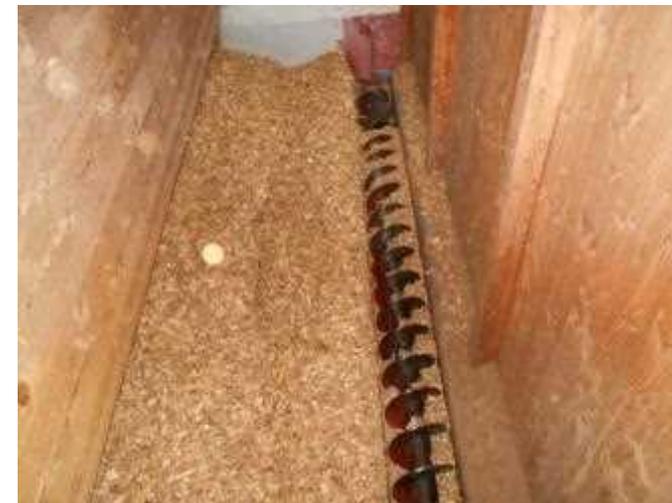
7万本のストック(2週間分)

バイオマス利用

小規模ボイラーによる地域熱供給



オシアツハ森林研修所ボイラー
(500kW)



林業国の象徴

世界一のCLT木造タワー(70m)



内装も木質化



頂上からの眺め



「持続性」

持続可能であることが最優先



皆伐は最大2ha

年成長量に対する伐採率87%
(日本は約30%)

「持続性」



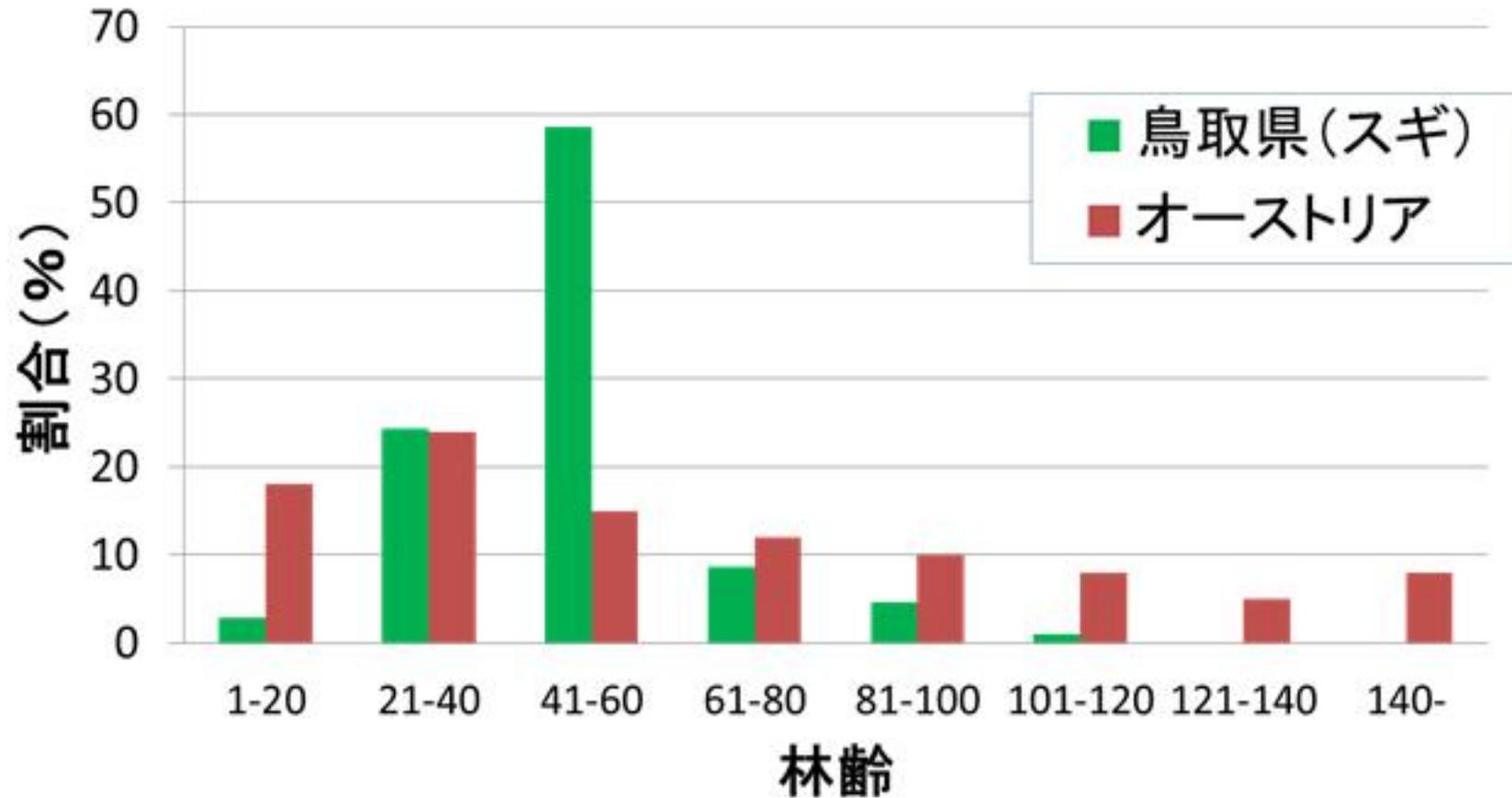
天然更新



将来木施業

「持続性」

林齢分布の比較



鳥取県のデータ:平成25年度鳥取県林業統計より

オーストリアのデータ:平成23年度林野庁森林・林業再生プラン実践事業資料より

「機械化」

クラーゲンフルト林業機械展

多種多様な搬器とタワーヤーダ



コンラッド社



TST社



コラー社



マイヤーメルンホフ社

「機械化」

車両系の機械はほとんどホイールタイプ



「路網整備」

路網密度45m/ha
(日本 14m/ha)



コンビマシン、44tトレーラー
が作業可能

「人材育成」

クラゲンフルト林業機械展



「安全」

オシアツハ森林研修所





オシアツハ森林研修所の看板前にて (ヨハン・ツェシャー所長と息子のアントン君と研修生一同)



オシアツハ森林研修所の看板前にて (ヨハン・ツェシャー所長と息子のアントン君と研修生一同)

林道のつくりと活用方法が素晴らしいと思いました。将来の林業の基盤となる路網の作成に取り組みたいです。



鳥取県中部森林組合
布廣さん

オシアツハ森林研修所の看板前にて (ヨハン・ツェシャー所長と息子のアントン君と研修生一同)

何度失敗してもあきらめないチャレンジ精神で地形に合わせた施業技術のスキルアップにつなげたいと思いました。



鳥取日野森林組合
池岡さん

オシアツハ森林研修所の看板前にて (ヨハン・ツェシャー所長と息子のアントン君と研修生一同)

環境にやさしい施業は「架線」にあると感じました。もっと勉強し、持続可能な施業につなげたいと思いました。

八頭中央森林組合
池成さん



オシアツハ森林研修所の看板前にて (ヨハン・ツェシャー所長と息子のアントン君と研修生一同)

安全指導装置に感動しました。安全教育と技術向上に力を入れていきたいです。

鳥取県東部森林組合
塚本さん



オシアツハ森林研修所の看板前にて (ヨハン・ツェシャー所長と息子のアントン君と研修生一同)

環境に配慮した施業が素晴らしいと思いました。それを第一に、これからの作業システムと機械導入を考えたいです。



日南町森林組合
久代さん

オシアツハ森林研修所の看板前にて (ヨハン・ツェシャー所長と息子のアントン君と研修生一同)

林業にIT技術をうまく導入して施業していることに驚きました。日本でも林業のIT化を進めたいと思いました。



林政企画課
渡辺さん

**研修生一同による
「オーストリア林業研修報告会」
平成29年1月～2月開催予定**

